

News Release

平成 23 年 1 月 20 日
消費者庁

意見交換会の開催についてのお知らせ

消費者基本計画では、消費者の安全・安心の確保のため、迅速・的確な事故情報の収集とそれに基づく情報発信に取り組むことを第一の政策課題として位置づけています。リスクコミュニケーションの推進については、消費者庁が消費者に身近な地方公共団体や消費者団体等と連携しながら、消費者の立場に立った新たな展開を図っていくこととされています。

この度、リスクコミュニケーション推進に資するパイロット的な事業として、消費者の日常生活における身近な問題である農薬及び消費生活上で使用する製品に係るリスクと安全をテーマとして、消費者・事業者・専門家等の情報共有・理解促進のための意見交換会を開催することとしましたのでお知らせいたします。

① 食品安全に係る意見交換会の開催

平成 23 年 2 月 8 日(火) 13:00~16:30 : ウィメンズプラザ (東京)

平成 23 年 3 月 2 日(水) 13:00~16:30 : せんだいメディアテーク (仙台)

(申し込み・問合せ : 東京海上日動リスクコンサルティング株式会社)

<http://www.tokiorisk.co.jp/cgi-bin/topics/page.cgi?no=615>

② 製品安全に係る意見交換会の開催

平成 23 年 1 月 31 日(月) 13:30~16:30 : 日本教育会館 (東京)

平成 23 年 2 月 17 日(木) 13:30~16:30 : 日本教育会館 (東京)

(申し込み・問合せ : NPO 法人品質安全機構 <http://park21.wakwak.com/~safety/>)

(詳細は別紙参照)

<本件問い合わせ先>

消費者庁 消費者安全課

松尾、真保

TEL : 03-3507-9201

FAX : 03-3507-9290

E-mail : keiko.matsuo@caa.go.jp

農薬について、知りたいこと、伝えたいこと

食の安全を考えたとき気になる農薬について、そのリスク低減や消費者への情報提供のために、生産や流通の現場が取り組んでいる実例をご紹介します。さらに専門家による解説を交えて、農薬のリスク管理の仕組みと取組の現状について、わかりやすく情報提供いたします。

2011年2月8日(火)

13:00~16:30 (受付開始12:30~)

会場 * ウィメンズプラザ 東京都渋谷区神宮前5-53-67

主催 * 消費者庁

定員 * 100名 参加費無料 先着順

ご参加希望の方は、裏面の用紙にご記入の上、FAXにてお申し込みください。Eメールにて受け付けております。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
受講者には、FAXまたはEメールにて受講票をお送りいたします。

プログラム

13:00~13:05 開会・主催者挨拶

講演の部

13:05~14:30 **基調講演** (ナビゲーター 唐沢 耕氏)

* 「農薬のリスク管理はどのように行われているのか」

財団法人 残留農薬研究所 理事 農学博士 加藤 保博氏

* 「生産現場からの報告」

全国農業協同組合連合会 肥料農薬部 次長 上園 孝雄氏

* 「有機農業とは何かー農薬の功罪ー」

恵泉女学園大学人間社会学部 教授 農学博士 澤登 早苗氏

14:30~14:45 休憩

ディスカッションの部

14:45~16:00 **ディスカッション**

16:00~16:15 休憩

16:15~16:30 **ディスカッション**

* 「農薬について、知りたいこと、伝えたいこと」

<パネリスト・コーディネーター>

食生活ジャーナリスト 唐沢 耕氏

<パネリスト>

全国消費者団体連絡会 事務局長 阿南 久氏

コープネット事業連合品質保証本部 本部長代理 太田 憲治氏

財団法人 残留農薬研究所 理事 農学博士 加藤 保博氏

全国農業協同組合連合会 肥料農薬部 次長 上園 孝雄氏

恵泉女学園大学人間社会学部 教授 農学博士 澤登 早苗氏

農薬について、知りたいこと、伝えたいこと

食の安全を考えたとき気になる農薬について、そのリスク低減や消費者への情報提供のために、生産や流通の現場が取り組んでいる実例をご紹介します。さらに専門家による解説を交えて、農薬のリスク管理の仕組みと取組の現状について、わかりやすく情報提供いたします。

2011年3月2日(水)

13:00~16:30 (受付開始12:30~)

会場 ● **仙台メディアテーク** 宮城県仙台市青葉区春日町2-1

主催 ● **消費者庁**

定員 ● **100名 参加費無料 先着順**

ご参加希望の方は、裏面の用紙にご記入の上、FAXにてお申し込みください。Eメールにても受け付けております。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
受講者には、FAXまたはEメールにて受講票をお送りいたします。

プログラム

13:00~13:05 **開会・主催者挨拶**

講演の部

13:05~14:30 **基調講演** (ナビゲーター 唐沢 耕氏)

● 「農薬のリスク管理はどのように行われているのか」

財団法人 残留農薬研究所 理事 農学博士 加藤 保博氏

● 「生産現場からの報告」

全国農業協同組合連合会 肥料農薬部 次長 上園 孝雄氏

● 「有機農業とは何かー農薬の功罪ー」

恵泉女学園大学人間社会学部 教授 農学博士 澤登 早苗氏

14:30~14:45 **休憩**

ディスカッションの部

14:45~16:00 **ディスカッション**

16:00~16:15 **休憩**

16:15~16:30 **ディスカッション**

● 「農薬について、知りたいこと、伝えたいこと」

<パネリスト・コーディネーター>

食生活ジャーナリスト 唐沢 耕氏

<パネリスト>

全国消費者団体連絡会 事務局長 阿南 久氏

みやぎ生協 産直推進本部事務局長 沼沢 美知雄氏

財団法人 残留農薬研究所 理事 農学博士 加藤 保博氏

全国農業協同組合連合会 肥料農薬部 次長 上園 孝雄氏

恵泉女学園大学人間社会学部 教授 農学博士 澤登 早苗氏

パネリスト・コーディネーター紹介

パネリスト



加藤 保博 氏

東京会場 仙台会場

財団法人 残留農薬研究所 理事 農学博士

1972年財団法人残留農薬研究所入所。化学部長を経て、現職。専門は農薬の代謝運命と残留性の研究。研究所業務の他、農林水産省及びOECDの代謝・残留性に係る試験ガイドラインの作成に携わったほか、厚生労働省の委員として残留農薬の基準値設定に携わる（～2011年1月）。



上園 孝雄 氏

東京会場 仙台会場

全国農業協同組合連合会 肥料農薬部 次長

鹿児島県出身、地方の農村地帯で育つ。1980年にJA全農に就職し、農業技術センター農薬研究部に配属され、除草剤の試験、開発などに従事。現在は、全農、肥料農薬部次長として農薬に関する仕事をしている。



澤登 早苗 氏

東京会場 仙台会場

恵泉女学園大学人間社会学部 教授 農学博士

山梨で果樹の有機栽培を実践するとともに、大学教育農場で有機農業による教育プログラムを展開。2003年からは東京南青山にある子育て支援施設「あい・ぽーと」で未就学児とその家族を対象にした有機野菜教室も開いている。日本有機農業学会副会長、やまなし有機農業連絡会議代表など。著書に「教育農場の四季」、「本来農業宣言」（共著）など。



阿南 久 氏

東京会場 仙台会場

全国消費者団体連絡会 事務局長

出産後、生協への加入と同時に、生協の消費者活動に参加。以来、食の安全、消費者の権利確立に関わるさまざまな取り組みを先頭に立って推進している。農林水産省「食料・農業・農村政策審議会」委員、厚生労働省「薬事・食品衛生審議会」委員、内閣府食品安全委員会専門調査会委員など。

パネリスト・コーディネーター紹介

パネリスト



太田 憲治 氏

東京会場

コープネット事業連合品質保証本部 本部長代理

「都民生協（コープとうきょうの前身）」へ入協後各現場を経験し、品質保証関係の仕事について15年。その間に商品検査センター長やF S M S（食品安全マネジメントシステム）導入事務局などを経験（2002年からコープネット事業連合へ出向）。



沼沢 美知雄 氏

仙台会場

みやぎ生協 産直推進本部事務局長

種苗会社勤務の後、みやぎ生協に入り農産担当、花園芸担当を経て家庭用品・野菜のバイヤー（仕入れ）を20年間勤める。昨年1月から産直推進本部事務局長として農産・水産・畜産・加工品などの産直の商品戦略・交流・教育を担当。

コーディネーター・パネリスト



唐沢 耕 氏

東京会場

仙台会場

食生活ジャーナリスト

生活情報誌『オレンジページ』の編集長、役員を経て、(有)唐澤事務所を設立。雑誌やムック等の編集、広告の制作、マーケティングのアドバイス等を行う。料理関連の編集に携わることが多く、「食」のテーマを中心に幅広く活動を展開。

製品安全に関する リスクコミュニケーション推進の 意見交換会(全2節)

入場無料

今、消費者の日常生活において、
もっとも身近な問題である製品の「安全」と「リスク」についての理解が重要になってきています。
そこで、安全を確保するための取り組みやリスク評価について、
消費者・事業者・行政間などのリスクコミュニケーション推進を図るため、
各界で当代一流の識者6人がここに会し、意見を交換いたします。

日時 前節・2011年1月31日(月) 13:30~16:30
後節・2011年2月17日(木) 13:30~16:30

入場無料

定員100名
(定員になり次第締め切らせて頂きます。)

会場

日本教育会館(前節、後節とも)
〒101-0003東京都千代田区一ツ橋2-6-2
会館事務局
TEL03-3230-2831 FAX03-3230-2834

プログラム

前節・2011年1月31日(月)
モデレーター：向殿政男
基調講演「消費者とリスクコミュニケーション」
パネリスト：若井博雄・河村真紀子

後節・2011年2月17日(木)
モデレーター：松本浩二
基調講演「誤使用リスクとR-MAP」
パネリスト：長田 敏・浅野幸子

予定時間割 前節、後節とも

13:30~13:40
開場～主催者あいさつ(消費者庁)

13:40~14:10
基調講演(前節・向殿政男、後節・松本浩二)

14:10~14:20
休憩(壇上レイアウト変更)

14:20~16:20
製品安全のリスクコミュニケーション意見交換会
(パネルディスカッション)／まとめ

16:20~16:30
閉会のあいさつ～閉場

主催：消費者庁
運営：NPO 法人品質安全機構／(有)ジョイストリーム
(申込み・問合せ <http://park21.wakwak.com/~safety/>)

◎前節



向殿政男
明治大学理工学部
情報科学科、新領域創造専攻安全学系 教授
◎基調講演モデレーター



若井博雄
(財)製品安全協会専務理事



河村真紀子
主婦連合会 事務局次長

◎後節



松本浩二
(財)日本科学技術連盟
R-Map 実践研究会統括主査
PS コンサルタント
◎基調講演モデレーター



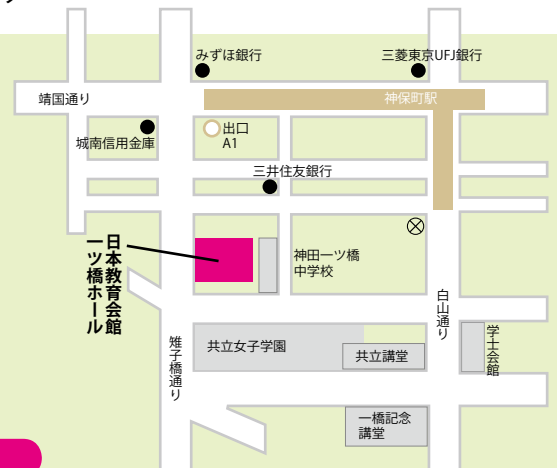
長田 敏
独立行政法人製品評価技術基盤機構
(NITE)製品安全センター参事官



浅野幸子
全国地域婦人団体連絡協議会事務局・
研究員

交通

- ◎地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線神保町駅(A1出口)下車徒歩3分
- ◎東京メトロ東西線竹橋駅(北の丸公園側出口)下車徒歩5分
- ◎JR総武線水道橋駅(西口出口)下車徒歩15分



◎前説



向殿政男 むかいどの まさお ◎前節モデレーター

明治大学工学部 情報科学科、新領域創造専攻安全学系 教授
1970年明治大学大学院工学研究科博士課程修了、工学博士
専門は、情報学(特に、ファジィ理論)、安全学(特に、機械安全・製品安全)。
国際ファジィシステム学会(IFSA)副会長、日本ファジィ学会会長、日本信頼性学会会長を歴任。
電子情報通信学会フェロー、日本知能情報ファジィ学会フェロー、
国際ファジィシステム学会(IFSA)フェロー、経済産業大臣表彰及び厚生労働大臣表彰受章。
現在は、消費審議会製品安全部会部会長、安全技術応用研究会会長。



若井博雄 わかい ひろお

(財)製品安全協会専務理事
1974年東京工業大学大学院化学修士
化学系の行政担当後、日本規格協会でJIS、ISO、IEC担当
2006年から現職、並行して国の消費者関連委員会等の委員を勤める。



河村真紀子 かわむら まきこ

主婦連合会 事務局次長
早大卒
1987年より主婦連合会会員。
参加した主な消費者運動は、割賦販売法改正運動、消費者庁創設運動など。
現在は事故原因究明機関を作る運動に事務局として参加。
全国消費者行政ウォッチねっと事務局次長。
経済産業省日本工業標準調査会委員、ISO COPOLCO国内委員など。

◎後説



松本浩二 まつもと こうじ ◎後節モデレーター

(財)日本科学技術連盟R-Map実践研究会統括主査
PS コンサルタント
1972年(株)東芝入社、医療機器部門で製品開発及び製品安全管理業務を担当。
2007年東芝グループ退職後、製品安全分野のコンサルタント活動従事。
専門は、開発段階からの全ライフサイクルに亘る実践的リスクマネジメント。
日科技連にて異業種による製品安全研究会を主宰し、R-Map手法を開発するとともに、
経済産業省及びNITEでの活用支援。
明治大学での製品安全講座の講師、
経済産業省及び厚生労働省の研修会講師、各種企業におけるリスクアセスメント導入指導等。



長田敏 ながた さとし

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)製品安全センター参事官
NHKクローズアップ現代(2008年5月)、トコトンハテナ(2008年11月、2010年6月)、
NHK家計診断(2008年11月)、政府公報インターネットテレビMYJAPAN(2008年12月)などの
テレビ番組に多数出演、NHKニュース、民放ニュースなどで製品事故の注意喚起に関する多数の報道。
消費者団体、工業会等で製品安全に関するセミナーを多数実施。
2009年度日科技連信頼・保全性シンポジウムチュートリアルセッション特別賞受賞。
「知の市場」講師(製品安全の基礎知識)、大阪市立大学非常勤講師、明治大学非常勤講師。
1974年通商産業省繊維製品検査所入所、通商産業省技術統括専門職、
NITE製品安全センター 製品安全企画課長を経て、現在はNITE製品安全に関する報道などを担当。



浅野幸子 あさの さちこ

全国地域婦人団体連絡協議会事務局・研究員
1995年より(社)シャンティ国際ボランティア会神戸事務所にて災害救援と
復興まちづくり支援に携わる。
1999年より(財)消費生活研究所事務局として消費者問題・環境問題を中心に従事し、
この間、法政大学大学院政策科学研究科終了(政策科学修士)。
2004年より全国地域婦人団体連絡協議会事務局・研究員となる。
現在、ISO/COPOLCOならびにISO/SR国内委員会委員。